



平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成27年11月12日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 平賀

コード番号 7863 URL <http://www.pp-hiraga.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 平賀 治郎

問合せ先責任者 (役職名) 管理部長

(氏名) 須賀 通雄

TEL 03-3991-4541

四半期報告書提出予定日 平成27年11月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第2四半期の業績(平成27年4月1日～平成27年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	4,263	△0.3	64	△16.4	79	△11.7	87	△52.8
27年3月期第2四半期	4,276	5.7	77	△33.7	89	△31.3	184	0.5

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	23.66	—
27年3月期第2四半期	50.07	—

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	%	円 銭		
28年3月期第2四半期	4,927		1,888		38.3	512.79		
27年3月期	4,964		1,850		37.3	502.48		

(参考)自己資本 28年3月期第2四半期 1,888百万円 27年3月期 1,850百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	8.00	8.00
28年3月期	—	0.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	8.00	8.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,800	1.4	124	14.6	140	8.0	112	△66.6	30.41

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(注)簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)「四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年3月期2Q	4,015,585 株	27年3月期	4,015,585 株
② 期末自己株式数	28年3月期2Q	332,198 株	27年3月期	332,146 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年3月期2Q	3,683,421 株	27年3月期2Q	3,683,492 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外ではありますが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続を実施しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「1. 当四半期の業績等に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の業績に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する定性的情報	P. 2
(2) 財政状態に関する定性的情報	P. 2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	P. 4
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	P. 4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	P. 4
3. 四半期財務諸表	P. 5
(1) 四半期貸借対照表	P. 5
(2) 四半期損益計算書	P. 7
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	P. 8
(4) 継続企業の前提に関する注記	P. 9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	P. 9
(6) セグメント情報	P. 9
(7) 重要な後発事象	P. 9

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期におけるわが国経済は、政府の経済対策や日銀の金融緩和によって、企業収益の改善が見られました。しかし、個人消費は円安による物価上昇によって、低迷が続く状況となりました。

印刷業界におきましては、主要原材料である用紙の価格が高止まりした状況が続いており、企業間の価格競争により、販売価格を上昇させることは困難であることから、経営環境は厳しいものとなっております。

このような状況の中、当社は顧客の販売促進活動をより効果的なものとするため、様々な販売促進物の提供を行ってまいりました。

受注の獲得が厳しい状況の中、順調に受注が獲得でき、また、コスト構成について、生産現場における作業の見直しを進めた結果、概ね当初の予想通りの推移となりました。

以上の結果から、当第2四半期累計期間の業績は、売上高は42億63百万円(前年同四半期比0.3%減)、営業利益は64百万円(前年同四半期比16.4%減)、経常利益は79百万円(前年同四半期比11.7%減)、四半期純利益は87百万円(前年同四半期比52.8%減)となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

①資産・負債及び純資産の状況

(流動資産)

当第2四半期会計期間末における流動資産の残高は、29億40百万円(前事業年度末は29億18百万円)となり、22百万円増加いたしました。その主な要因といたしましては、前事業年度末と比べ受取手形及び売掛金が1億37百万円、仕掛品が26百万円増加したものの、現金及び預金が93百万円、未収入金が45百万円減少したことによるものであります。

(固定資産)

当第2四半期会計期間末における固定資産の残高は、19億86百万円(前事業年度末は20億45百万円)となり、58百万円減少いたしました。その主な要因といたしましては、前事業年度末と比べ投資有価証券が25百万円、有形固定資産が23百万円、無形固定資産が8百万円減少したことによるものであります。

(流動負債)

当第2四半期会計期間末における流動負債の残高は、21億22百万円(前事業年度末は21億40百万円)となり、18百万円減少いたしました。その主な要因といたしましては、前事業年度末と比べ支払手形及び買掛金が1億4百万円、未払法人税等が15百万円増加したものの、短期借入金が46百万円、その他が95百万円減少したことによるものであります。

(固定負債)

当第2四半期会計期間末における固定負債の残高は、9億16百万円(前事業年度末は9億73百万円)となり、56百万円減少いたしました。その主な要因といたしましては、前事業年度末と比べ、社債が50百万円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第2四半期会計期間末における純資産の残高は、18億88百万円(前事業年度末は18億50百万円)となり、37百万円増加いたしました。その主な要因といたしましては、前事業年度末と比べ利益剰余金が57百万円増加し、その他有価証券評価差額金が19百万円減少したことによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、11億7百万円となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動におけるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間における営業活動におけるキャッシュ・フローは、73百万円の収入(前年同四半期は40百万円の収入)となりました。これは主に税引前四半期純利益が83百万円、減価償却費が37百万円、売上債権の増加が1億37百万円、仕入債務の増加が1億3百万円生じたことによるものであります。

(投資活動におけるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間における投資活動におけるキャッシュ・フローは、10百万円の支出(前年同四半期は11百万円の支出)となりました。これは主に有形及び無形固定資産の取得による支出が8百万円、投資有価証券の取得による支出が2百万円生じたことによるものであります。

(財務活動におけるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間における財務活動におけるキャッシュ・フローは、1億55百万円の支出(前年同四半期は1億14百万円の支出)となりました。これは主に社債の償還による支出が80百万円、短期借入金の純減額が46百万円、配当金の支払額が29百万円生じたことによるものであります。

(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、平成27年5月13日公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成27年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,182,199	1,088,630
受取手形及び売掛金	1,126,604	1,264,058
有価証券	17,959	18,929
商品及び製品	76,927	69,482
仕掛品	98,360	125,040
原材料及び貯蔵品	94,483	82,080
未収入金	226,646	181,138
その他	97,106	113,314
貸倒引当金	△1,786	△1,729
流動資産合計	2,918,501	2,940,945
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	467,569	454,572
土地	907,360	907,360
その他(純額)	111,660	101,457
有形固定資産合計	1,486,590	1,463,390
無形固定資産		
その他	78,252	69,781
無形固定資産合計	78,252	69,781
投資その他の資産		
投資有価証券	434,957	409,921
破産更生債権等	301,170	299,129
その他	46,050	43,804
貸倒引当金	△301,170	△299,129
投資その他の資産合計	481,007	453,726
固定資産合計	2,045,850	1,986,899
資産合計	4,964,352	4,927,844
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,234,797	1,339,386
短期借入金	442,000	396,000
未払法人税等	2,579	18,271
賞与引当金	80,500	83,800
その他	380,376	284,768
流動負債合計	2,140,253	2,122,227
固定負債		
社債	150,000	100,000
退職給付引当金	604,539	607,502
その他	218,710	209,297
固定負債合計	973,249	916,800
負債合計	3,113,503	3,039,027

(単位:千円)

	前事業年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成27年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	434,319	434,319
資本剰余金	425,177	425,177
利益剰余金	1,598,743	1,656,413
自己株式	△259,790	△259,806
株主資本合計	2,198,450	2,256,104
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	195,031	175,346
土地再評価差額金	△542,633	△542,633
評価・換算差額等合計	△347,601	△367,286
純資産合計	1,850,848	1,888,817
負債純資産合計	4,964,352	4,927,844

(2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	4,276,447	4,263,648
売上原価	3,475,344	3,484,575
売上総利益	801,102	779,072
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	266,749	272,039
賞与引当金繰入額	30,969	29,260
退職給付費用	8,068	7,408
その他	418,301	406,013
販売費及び一般管理費合計	724,088	714,721
営業利益	77,013	64,351
営業外収益		
受取利息	1,248	1,233
受取配当金	4,861	4,569
受取家賃	2,127	2,118
作業くず売却益	5,868	7,659
その他	6,244	4,953
営業外収益合計	20,350	20,534
営業外費用		
支払利息	7,500	5,169
その他	196	571
営業外費用合計	7,697	5,741
経常利益	89,667	79,144
特別利益		
受取補填金	450	4,350
訴訟関連費用精算益	6,134	-
特別利益合計	6,584	4,350
特別損失		
固定資産除却損	12	240
特別損失合計	12	240
税引前四半期純利益	96,239	83,253
法人税、住民税及び事業税	48,672	3,978
法人税等調整額	△136,876	△7,862
法人税等合計	△88,204	△3,883
四半期純利益	184,444	87,137

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	96,239	83,253
減価償却費	40,925	37,996
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△1,616	△2,097
賞与引当金の増減額(△は減少)	7,900	3,300
退職給付引当金の増減額(△は減少)	20,217	2,962
受取利息及び受取配当金	△6,110	△5,803
支払利息	7,500	5,169
固定資産除却損	12	240
売上債権の増減額(△は増加)	△123,975	△137,104
たな卸資産の増減額(△は増加)	△12,176	△6,832
仕入債務の増減額(△は減少)	△22,230	103,938
その他	60,660	△70,573
小計	67,345	14,450
利息及び配当金の受取額	6,110	5,803
利息の支払額	△7,430	△4,788
受取補填金	450	4,350
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△25,867	53,523
営業活動によるキャッシュ・フロー	40,608	73,338
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形及び無形固定資産の取得による支出	△7,858	△8,146
投資有価証券の取得による支出	△3,777	△2,435
貸付けによる支出	△1,000	-
貸付金の回収による収入	1,079	1,389
その他	△8	△1,185
投資活動によるキャッシュ・フロー	△11,565	△10,377
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△5,000	△46,000
社債の償還による支出	△80,000	△80,000
自己株式の取得による支出	-	△16
配当金の支払額	△29,418	△29,541
財務活動によるキャッシュ・フロー	△114,418	△155,558
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△85,375	△92,598
現金及び現金同等物の期首残高	842,808	1,200,158
現金及び現金同等物の四半期末残高	757,432	1,107,560

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) セグメント情報

当社の報告セグメントは単一であり、報告セグメントの記載を省略しております。

(7) 重要な後発事象

該当事項はありません。

以 上